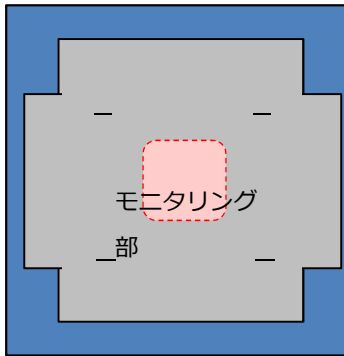


技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 <input checked="" type="radio"/> 維持管理 環境 コスト ICT 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	KDパネル	担当部署	ヒロセ補強土
NETIS登録番号		担当者	阿部基雄
社名等	ヒロセ補強土株式会社	電話番号	090-1002-0541
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>近年、構造物の老朽化や大自然災害による被災が露見されている。「道路土工構造物技術基準」や「道路土工構造物点検要領(仮称)」が策定され、維持管理の容易さや修復性が重視されている。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>効率的な維持管理を実施するため、モニタリング部を設け、背面に予め埋設した耐久性及び摩擦特性を確認できる補強材を用いて、各々の評価を行うことが可能な壁面材「KDパネル(Knowledge Durability)(一般名称:モニタリングパネル)」を設置することで、必要に応じてサンプリングするなどして、補強材の経年変化を把握し、部材の健全性の評価を行うことができる</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>「KDパネル」は、従来の壁面材にモニタリング部を設けたことにより、容易に補強材(帯鋼ストリップ)や壁背面にアクセスでき、従来では可視化できなかった各部材の状態を把握し、健全性の評価することができる。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>全てのテールアルメ工法に適用可能</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 0 件 (九州 1件、九州以外 1件) 自治体 0 件 (九州 1件、九州以外 2件) 民間 0 件 (九州 0件、九州以外 0件)</p>		

6. 写真・図・表

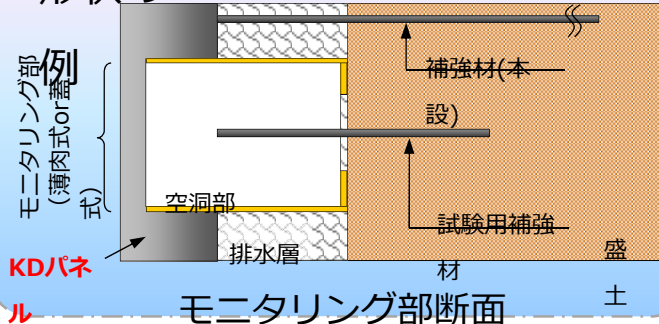


テールアルメの健全性を評価する
モニタリング部を設けた専用壁面材
モニタリング部に予め試験体や計測器を設
置、
定期的な計測データから、**経時変化**を把握
し、
部材の**健全性**を評価します。

KDパネルの設置目的

- ・補強材の摩擦抵抗確認
 - ・補強材の腐食状況確認
- のための引抜き試験

形状の



特徴

①



引抜き試験用と腐食
状況確認用を並べて
設置することも可能

目視点検では確認が難しい補強材や
盛土の状態を容易に把握できます。

特徴 (列)

②



コア抜き不要でモニタリング部を開放で
き、試験体にアクセスできます。

特徴

③



定期点検、詳細調査や不具合が生じ
た場合の経過観察にも有効です。

特徴

④



開放後のモニタリング部の埋戻しも容易
で、景観性を維持します。